

第3章 地区別構想

1. 入間川地区
2. 入曾地区
3. 堀兼地区
4. 奥富地区
5. 柏原地区
6. 水富地区
7. 新狭山地区
8. 狹山台地区

第3章 地区別構想

地区別構想では、全体構想で掲げた分野別方針との整合を図りながら、各地区的特性を踏まえた、地区ごとの将来像と地区づくりの方向性を示します。

地区区分については、本市のコミュニティ単位である8地区とし、各地区的将来像を実現していくために都市計画分野として必要な方針・施策を位置付けます。

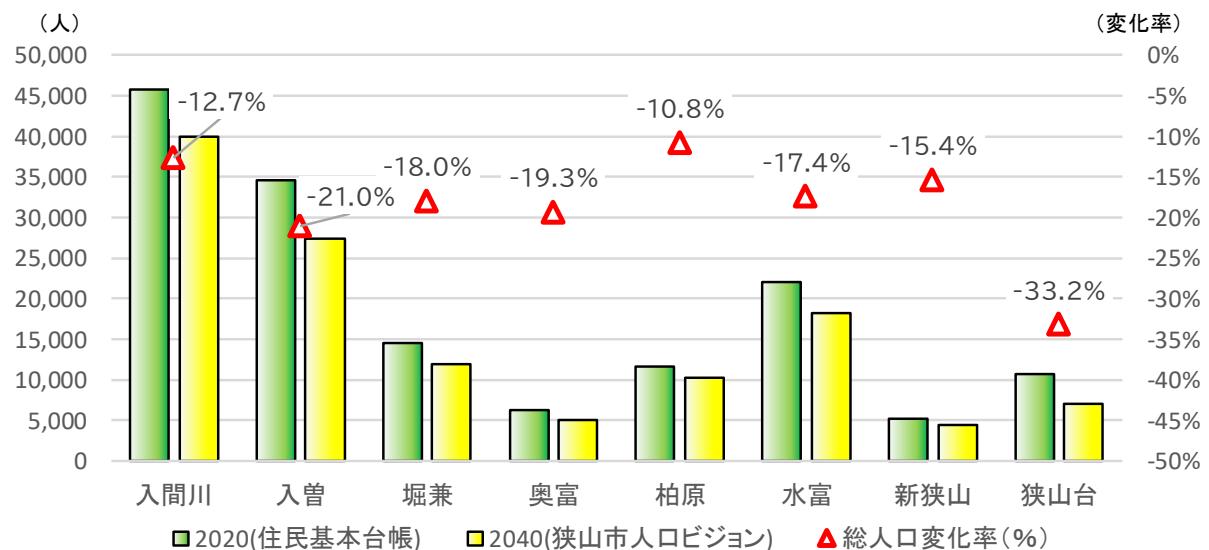
■地区区分図



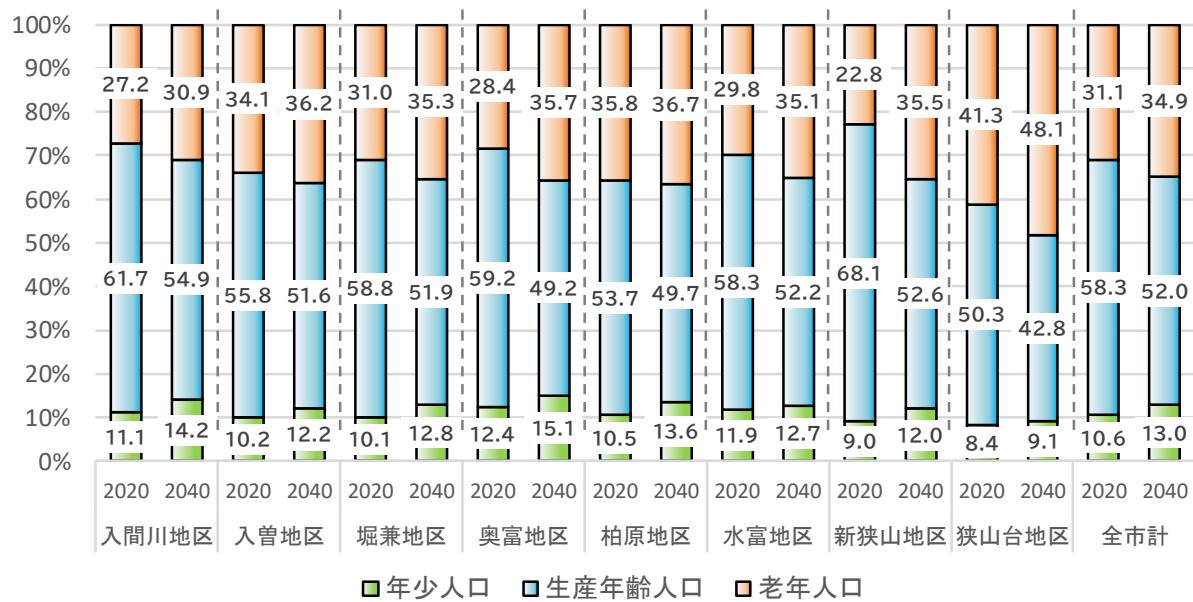
各地区の人口推計を見ると、全ての地区で令和2年(2020年)の人口は減少すると推計されていますが、減少の割合は約11%(柏原地区)～約33%(狭山台地区)と地区で大きく異なります。

年齢3区分別に見ると、生産年齢人口割合の減少と老人人口割合の増加が推計されています。高齢化率は、4割を超えると推計されている地区も存在しています。

■地区別将来人口推計



■地区別将来年齢3区分別人口推計



住民基本台帳(2020)、狭山市人口ビジョン(2040)をもとに作成

1. 入間川地区

(1) 地区の概況

本市の中心部に位置し、地区の北西部には入間川が流れています。旧入間川町にあたり、古くから本市の中核となっている地区です。

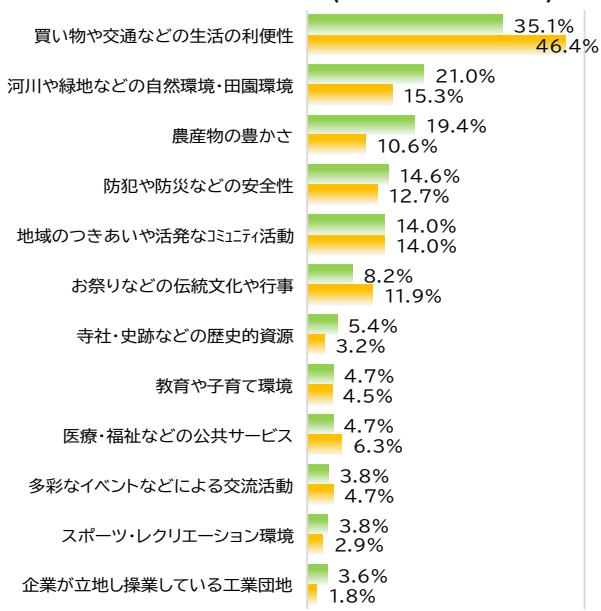
地区内には狭山市駅と稻荷山公園駅が存在し、狭山市駅周辺では平成24年(2012年)に西口で市街地再開発事業、平成30年(2018年)に東口で土地区画整理事業が完了するなど、本市の顔となる市街地が形成されています。

また、狭山稻荷山公園や入間川などの豊かな自然や、関東三大七夕祭りのひとつである、狭山市入間川七夕まつりといった魅力も存在します。

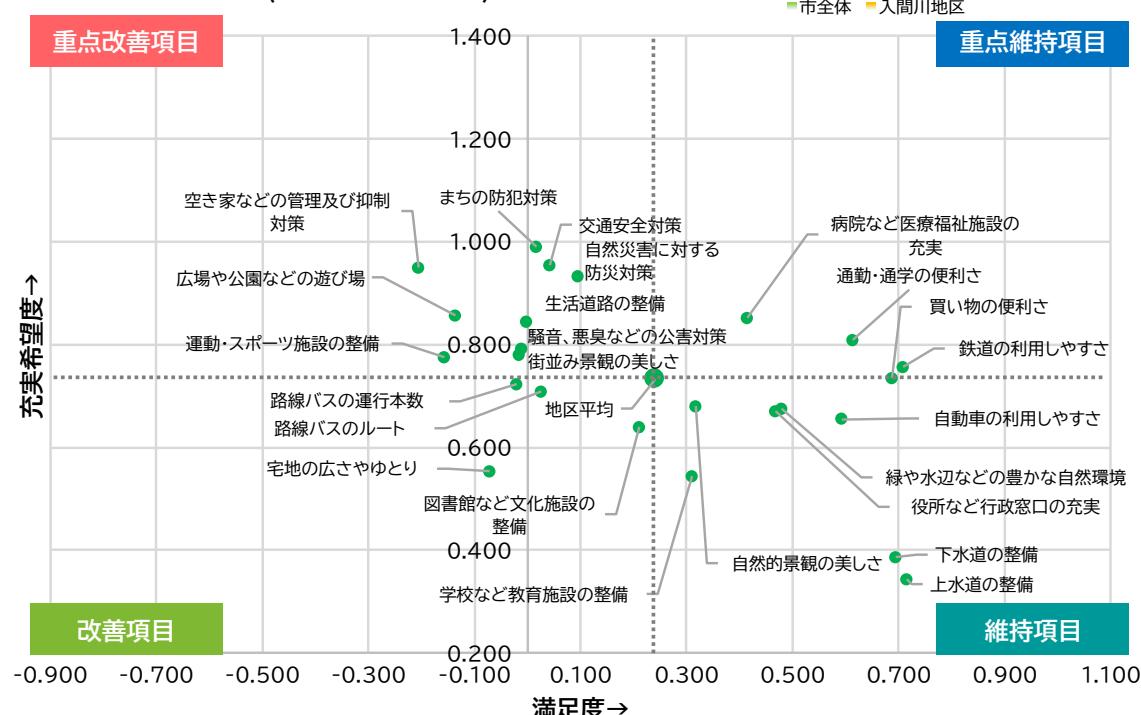
(2) 地区の声

- 駅周辺の発展には、道路整備が重要。
駅東西が分断されないように動線も良くしてほしい
- 買い物や交通などの生活の利便性が誇り・自慢
- 基地跡地を有効活用してもらいたい
- 「空き家などの管理及び抑制対策」「スポーツ・レクリエーション機能」「防犯・安全対策」が重要な課題

■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度(市民アンケート)



(3) 地区の将来像

《将来像》

人と語らい 緑とふれあう にぎわいと調和の中心地 入間川

《まちづくりの目標》

目標1 本市の中心市街地にふさわしいにぎわいと魅力づくり

本市の顔として都市基盤整備が行われた狭山市駅周辺は、地区住民をはじめ、市民や本市を訪れる人々が交流し、にぎわう中心市街地として、商業・業務・文化といった魅力的な都市機能の集積を図ります。

入間川地区内の計画的整備区域は、狭山市駅徒歩圏内であり、幹線道路と近接している立地特性を活かし、中心市街地の魅力・生活利便性や市内経済活性化に資する土地利用を促進します。



狭山市駅西口

目標2 稲荷山公園駅周辺のうるおいある都市機能の向上

多くの人が訪れる稲荷山公園駅周辺は、文化・レクリエーション活動の場としての機能充実など、うるおいある都市機能の向上を進めます。



稲荷山公園

目標3 本市の中心地を支える道路・交通体系の整備

周辺都市や市内各地区との連携強化など、都市活動を支える幹線道路の整備を進めます。

駅周辺などにおいては安全に通行できるよう歩行者・自転車の通行環境の改善や公共交通機関の利便性向上を図ります。



国道16号

目標4 安全で快適な生活が営める住環境の形成

生活に身近な道路において通行の安全性確保を図るとともに、つながりの強いコミュニティを育む公園などの場の保全・充実により、だれもが安心で快適な生活を営める良好な住環境の形成を進めます。



入間川小学校跡地公園

目標5 自然資源や歴史的資産を活かしたふれあいのまちづくり

入間川周辺はにぎわいと憩いの空間として、更なる魅力充実を図るとともに、狭山稲荷山公園周辺の斜面林の緑、八幡神社や天岑寺などの歴史的資産の保全・活用に努めます。



入間川

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

狹山市駅周辺の都市機能の整備・充実

- 商業・業務、行政機能など生活利便性の向上に資する都市機能の集積
- 駅から周辺商店などを巡り、入間川へ向かう回遊性向上による魅力とにぎわいの創出
- 狹山市駅を中心とした計画的整備区域(都市機能促進)における中心市街地の魅力・生活利便性向上に資する土地利用の促進
- 東京狭山線や狹山市駅加佐志線などの沿道の計画的整備区域(産業機能促進)における市内経済活性化に資する土地利用の促進
- 駅周辺における良好な都市景観の維持

稻荷山公園駅周辺のうるおいある都市機能の向上

- 基地跡地の有効活用や狹山稻荷山公園との連携などを活かした都市機能の向上
- 山並みの眺望や桜並木、斜面緑地などの自然と調和した美しい都市景観の維持

良好な住環境の維持

- 東急入間川団地など、基盤整備された地区での良好な住環境の維持
- 富士見地区など、住宅と工業系施設が混在する地区での住・工相互に配慮した環境の維持
- 国道16号、所沢狭山線、工業団地日高線など、幹線道路沿道での防災性の維持保全

② 都市基盤・施設整備の方針

駅周辺の交通結節点としての機能強化

- 利便性の高い駅前広場の環境維持
- 安全・快適な歩行者空間の拡充強化の検討
- 官民による自転車駐車場の充実

都市の骨格となる道路・交通体系の確保

- 国道16号の機能維持の促進
- 東京狭山線や国道16号などの幹線道路での大規模災害時の円滑な通行機能、延焼遮断機能の確保
- 工業団地日高線の計画的な維持管理
- 狹山市駅へのアクセス道路となる狭山市駅加佐志線の整備
- 菅原富士見台線、入間川入曾線、平野富士見台線、菅原田中線の計画的な整備・検討
- 入間市との連携を図る黒須鵜ノ木線の整備計画の検討
- 狹山稲荷山公園へのアクセス性を高め、市の中心市街地と入間市を結ぶ狭山・入間縦貫道路の整備・検討

安全で快適な住環境の形成

- 国道16号など交通量の多い道路の交差点などの安全性の確保・促進
- 幹線道路などでのゆとりある歩道整備など、安全で快適な通行空間づくりの推進
- 防災性や通行環境の安全性・快適性に配慮した生活道路の整備・維持
- 少子化傾向や女性の社会進出に対応した、利便性の高い子育て支援施設などの整備・充実
- 急傾斜地における安全性確保の促進
- 入間川の治水安全性の向上に向けた流域都市との連携による埼玉県への要望
- 久保川における雨水処理機能の強化

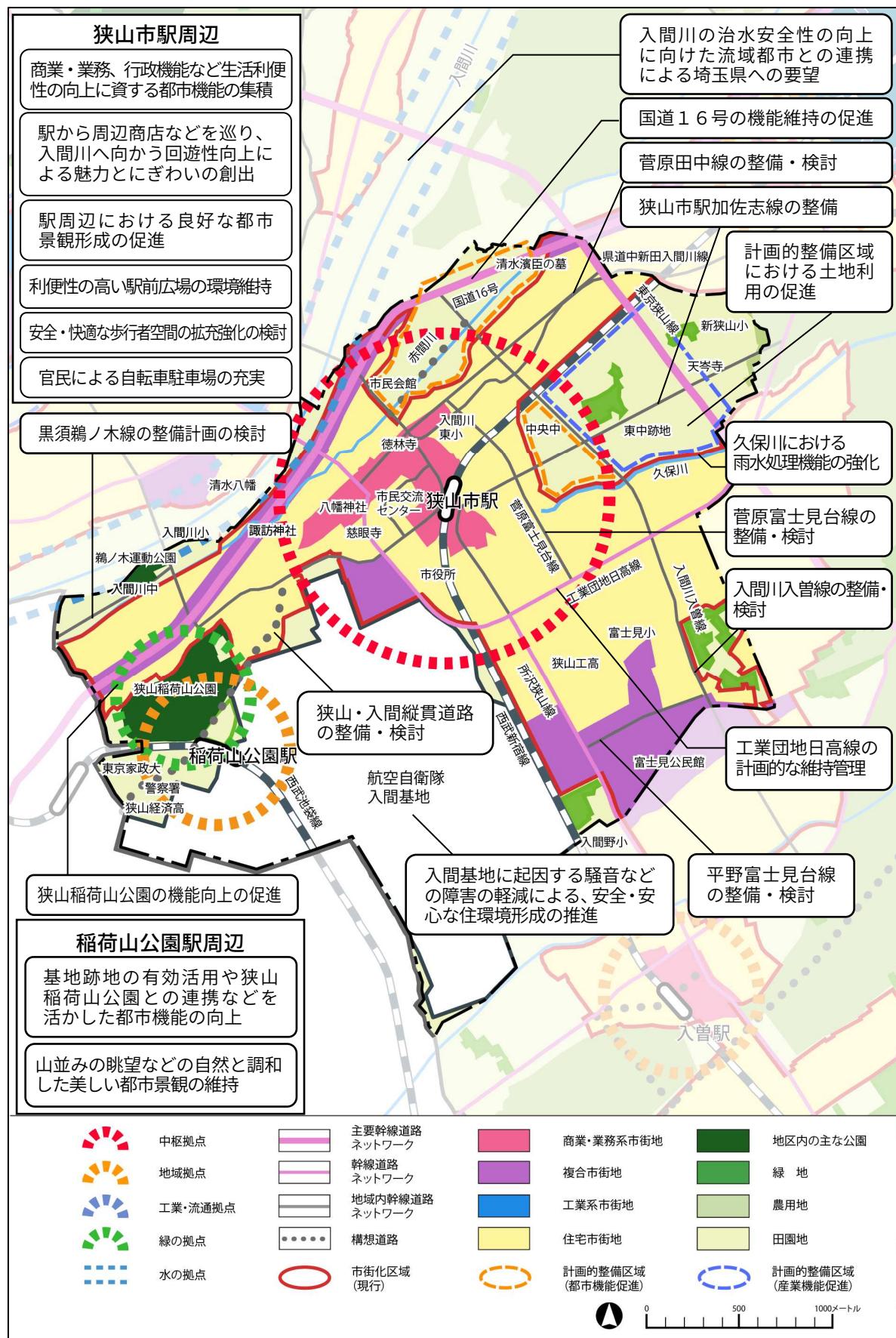
公園などの機能向上と適切な維持管理の実施

- 狹山稲荷山公園の市民の憩い・レクリエーションの場としての機能向上の促進
- 間伐などによる狭山稲荷山公園周辺の斜面緑地の樹木の更新

③ その他の方針

- 入間川河川敷の適切な管理による保全とまちづくりへの活用検討
- 空き家や空き地などの適正管理や利活用の促進
- 入間川商店街での安全・快適な歩行者空間の整備にあわせた統一のとれた都市景観の形成
- 八幡神社や天岑寺など地区に個性や魅力をもたらす歴史的資産の保全・活用
- 入間基地に起因する騒音などの障害の軽減による、安全・安心な住環境形成の推進

(5) まちづくり方針図



2. 入曽地区

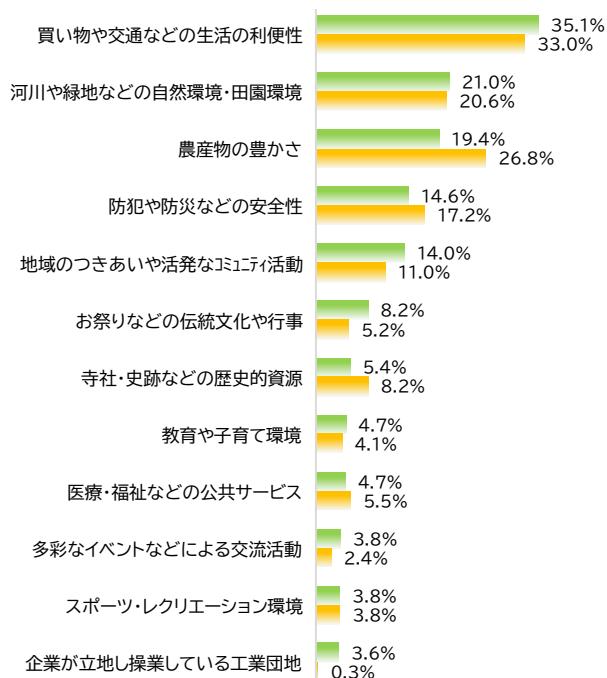
(1) 地区の概況

本市の南部に位置し、良好な農地が入曽駅近くにも広がっています。地区の南部には、大規模住宅地の東急狭山団地、東急若葉台団地と西武フラワーヒルが開発されています。県の指定文化財である入曽の獅子舞は埼玉県西部地方を代表する郷土芸能です。

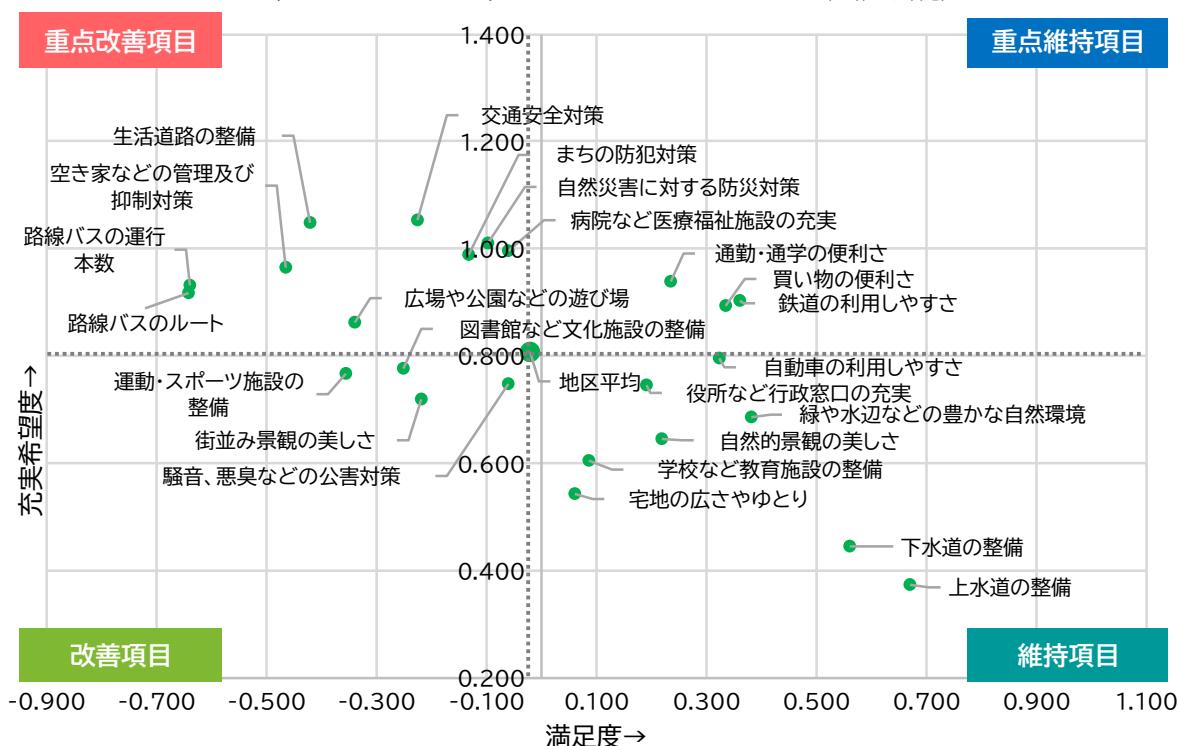
(2) 地区の声

- 「買い物や交通などの生活の利便性」と「農産物の豊かさ」が誇り・自慢
- 「生活道路の整備(道路の幅が狭い、歩道がない)」「交通安全対策」「空き家などの管理及び抑制対策」「公共交通の利便性確保(路線バスの運行本数、路線バスのルート)」が重要な課題
- 駅近くに市街化調整区域が広がるのは地区の特徴ではないか

■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度(市民アンケート)



(3) 地区の将来像

《将来像》

緑と歴史豊かな お茶香るにぎわいのまち 入曾

《まちづくりの目標》

目標1 入曾駅周辺における地域の核づくり

入曾駅周辺は、市南部の地域拠点として、入間小学校跡地をはじめとした市有地を有効活用し、通行の安全性を高める駅前広場やアクセス道路の整備、駅東西を円滑に行き来できる東西自由通路及び橋上駅舎の整備による、安全で利便性の高いまちづくりを推進します。

あわせて、地区住民の日常生活を支える場として、入間中学校跡地などにおける民間活力を活かした交流・定住・子育て支援の拠点形成を図り、地域の核づくりを進めます。



入曾駅周辺整備イメージ

目標2 安全・快適な道路体系の整備・検討

入間市、所沢市との連携を強化する幹線道路網の整備・検討を進めます。

また、入曾駅周辺整備にあわせて、地区内の渋滞や通過交通の解消を図る周辺道路の整備を進めます。



所沢狭山線

目標3 良好な住環境の形成

地区南部の住宅地は、周辺に広がる平地林や茶畠などの農地との調和に配慮し、良好な住環境の維持・向上を図ります。

地区北部の住宅地は、身近な道路の環境改善など、安心で快適な生活が営める良好な住環境の形成を進めます。

駅周辺の南入曽地区の住宅地は、入曽駅周辺整備とあわせて、駅への至近性を活かした住環境の形成を進めます。



東急若葉台団地

目標4 自然資源や歴史的資産を活かした魅力づくり

地区南部に広がる平地林、地区北部を流れる不老川、周辺に広がる茶畠などの農地といった自然資源、七曲井や入間野神社など地区の歴史的資産の保全と活用を図ります。



入間野神社

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

入曾駅周辺の地域拠点としての都市機能の整備・充実

- 入間小学校跡地などを活用した地区のにぎわい創出に資する都市機能の整備
- 入間中学校跡地などを活用した地区住民の交流・若い世代の定住・子育て支援の拠点整備
- 土地利用の動向や道路などの整備を踏まえた用途地域の見直しの検討

良好な住環境や市街地環境の維持保全

- 駅周辺の南入曾地区の住宅地における、入曾駅周辺整備とあわせた、駅への至近性を活かした住環境の形成
- 東急狭山団地、東急若葉台団地の良好な住環境の維持
- 西武フЛАワーヒル、既存集落など、市街化調整区域のまとまりある住宅地の住環境の維持

自然環境に配慮した土地利用

- 市街化調整区域の緑の保全及び無秩序な市街地拡大の防止と住宅地での住環境の維持
- 農業振興地域内農用地区域の良好な農地の保全

② 都市基盤・施設整備の方針

入曾駅周辺の交通結節点としての機能強化

- 東西駅前広場の整備
- バス交通にも配慮した駅へのアクセス道路などの整備
- 安全・快適な歩行者空間の整備
- 東西自由通路と橋上駅舎、駅前広場の一体的な整備による利便性・安全性の向上
- 官民による自転車駐車場の充実

都市の骨格となる道路・交通体系の整備

- 所沢狭山線の整備の促進
- 地区の東西や川越市、入間市を結ぶ道路の整備・検討
- 地区内の渋滞や通過交通の進入解消に向けた幹線道路の整備
- 県道川越入間線の歩行者の安全確保に配慮した整備・改善の促進
- 所沢狭山線など交通量の多い道路の交差点などの安全性の確保

安全で快適な住環境の形成

- 防災性や通行の安全性・快適性の向上に配慮した生活道路の維持・改善
- 不老川流域市町と連携した治水安全性の向上促進
- 入曽駅周辺区域の雨水管渠の整備

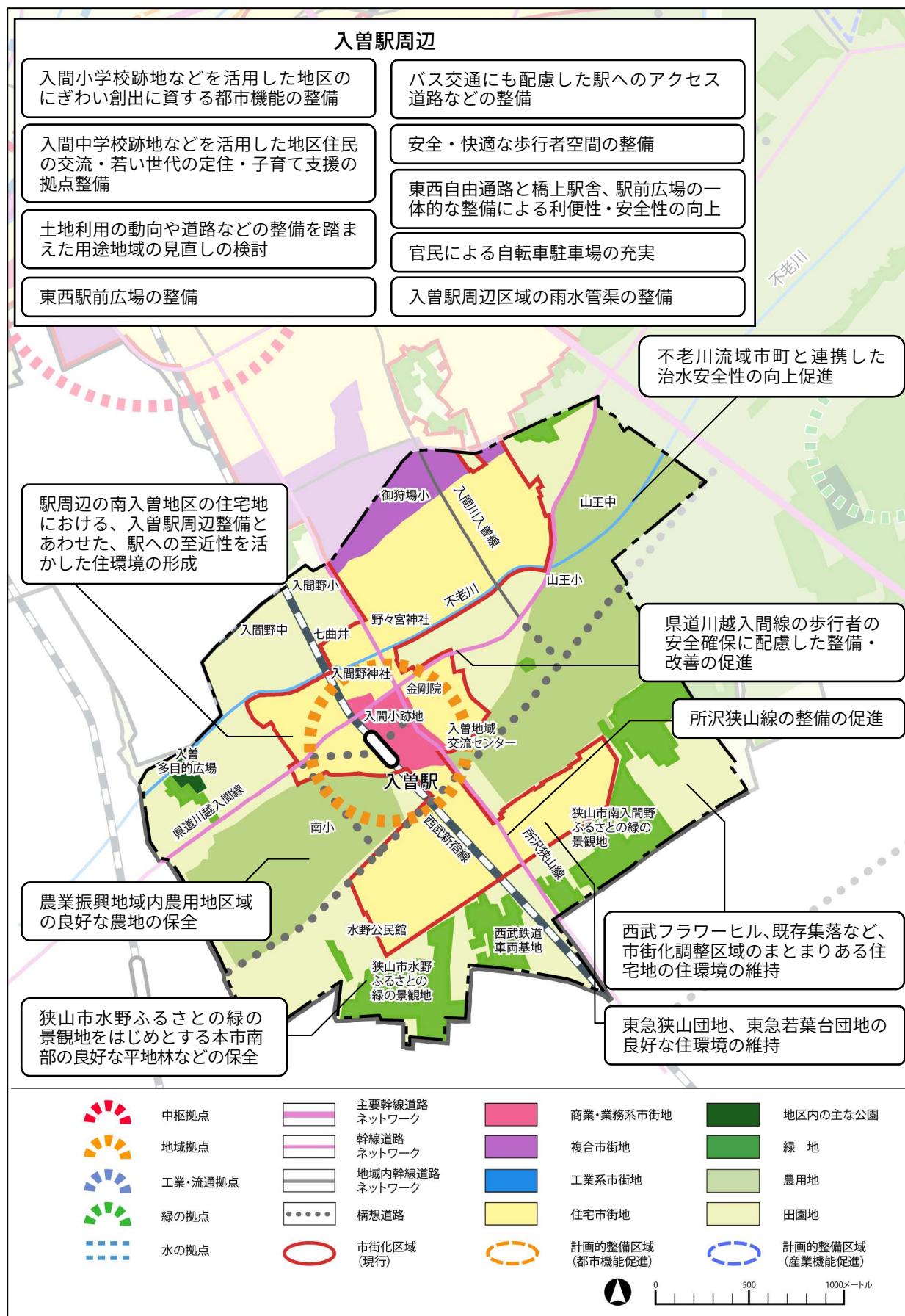
公園などの適切な維持保全

- 子どもや高齢者が身近に利用できる街区公園や運動公園などの身近な公園の維持保全

③ その他の方針

- 狹山市水野ふるさとの緑の景観地をはじめとする本市南部の良好な平地林などの保全
- 七曲井や入間野神社など地区に個性や魅力をもたらす歴史的資産の保全・活用
- 空き家や空き地などの適正管理や利活用の促進

(5) まちづくり方針図



3. 堀兼地区

(1) 地区の概況

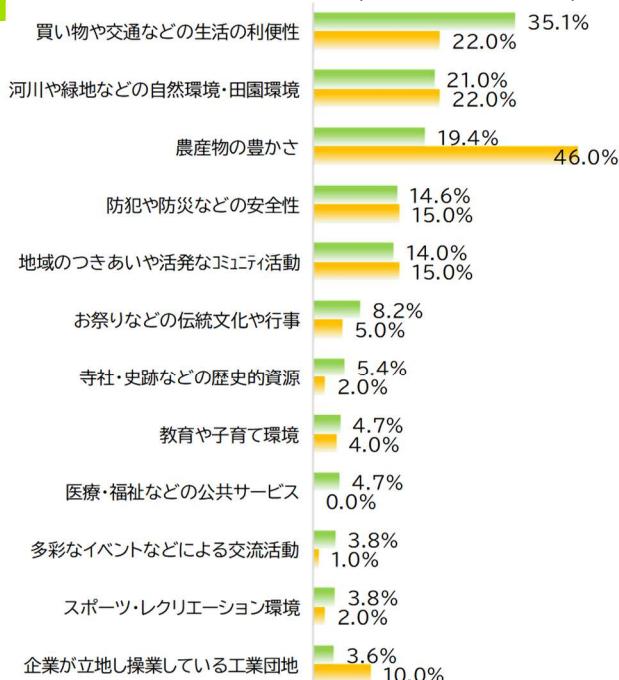
本市の東部に位置し、新狭山駅南側や新狭山ハイツなどの住宅地を除く大部分が農地や緑地、樹林地となっている、緑豊かな地区です。

地区南東部の平地林は、堀兼・上赤坂ふるさとの緑の景観地として約80haが県に指定され、指定区域の一部は多目的広場や遊歩道を備える堀兼・上赤坂公園として整備されています。

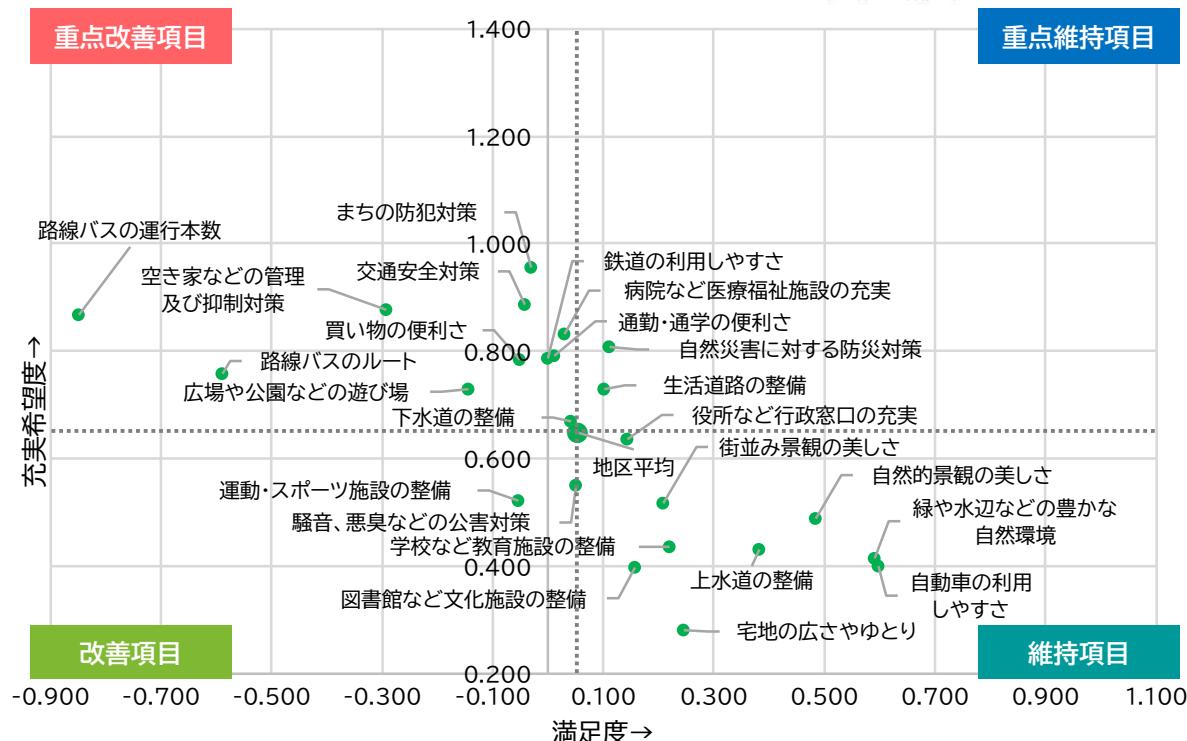
(2) 地区の声

- 「農産物の豊かさ」が誇り・自慢
- 「空き家などの管理及び抑制対策」「公共交通の利便性確保」が重要な課題
- 茶の花号も含めて公共交通が通らない地区について考えてほしい。免許返納などで自動車を運転できなくなった時に困ってしまう
- 久保川が最近一部氾濫したため、豪雨対策が気になっている
- 農地や緑地が多く、他の地区よりも人口が増えない状況で推移すると思われるため、他の地区との連携について考えてほしい

■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度(市民アンケート)



(3) 地区の将来像

《将来像》

武藏野の 緑かがやく元気なまち 堀兼

《まちづくりの目標》

目標1 周辺地区との連携を強化する道路・公共交通網の整備

新狭山地区、入曽地区など隣接地区を結ぶ新たな道路の検討や既存道路の改善を進め、地区的利便性の向上を図ります。

また、高齢化の進展を踏まえ、バスなどの公共交通網の確保・充実を図ります。



川越入間線

目標2 東三ツ木地区の良好な住環境の維持

道路や公園の適切な維持管理や久保川の雨水処理機能の強化、身近な道路の環境改善などにより、良好な住環境の維持を図ります。



東三ツ木地区

目標3 自然資源や農業環境と調和した魅力的な住環境の維持

不老川、屋敷林、南部に広がる、堀兼・上赤坂ふるさとの緑の景観地をはじめとする豊かな平地林などの自然資源や堀兼神社などの貴重な歴史的資産を保全・活用するなど、やすらぎのある住環境の維持を図ります。



堀兼神社

目標4 幹線道路周辺における拠点性の向上

新狭山駅南口線周辺は、生活サービス機能の誘導を図り、地区住民の生活利便性の向上を図ります。

青柳・中新田地区は、駅や幹線道路との近接性を活かした土地利用を促進します。



工業団地日高線(東三ツ木地区)

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

良好な住環境や市街地環境の維持保全

- 駅に近接した住宅地における良好な住環境の維持

自然環境に配慮した土地利用

- 新狭山ハイツ、西武フラワーヒル、既存集落など、市街化調整区域内のまとまりある住宅地の住環境の維持
- 市街化調整区域の緑の保全及び無秩序な市街地拡大の防止と住宅地での住環境の維持
- 農業振興地域内農用地区域の良好な農地の保全

新狭山駅及び幹線道路周辺の都市機能の維持・向上

- 新狭山駅周辺の近隣商業地域などの商業機能の維持・向上方策の検討
- 新狭山駅南口線沿道の土地利用の誘導・促進方策の検討
- 計画的整備区域(産業機能促進)における市内経済活性化に資する産業系土地利用の検討(農業振興地域内農用地区域においては、都市計画に関する土地利用と農業の調整を十分に行い整合を図る)

② 都市基盤・施設整備の方針

都市の骨格となる道路・交通体系の整備

- 東京狭山線の機能維持の促進
- 県道川越所沢線の機能維持の促進
- 本市南部と川越市、入間市を連絡する県道川越入間線の機能維持の促進
- 県道中新田入間川線の歩行者の安全性に配慮した道路の整備・拡充の促進
- 入曾地区と連絡する既存道路の拡幅整備の検討
- 新狭山地区との連携強化と計画的整備区域(産業機能促進)の土地利用に寄与する県道川越入間線と新狭山駅周辺を結ぶ構想道路整備などの検討

安全で快適な住環境の形成

- 防災性や通行環境の安全性・快適性の向上と通過交通の抑制に配慮した生活道路の整備・維持
- 久保川における雨水処理機能の強化
- 不老川流域市町と連携した治水安全性の向上促進

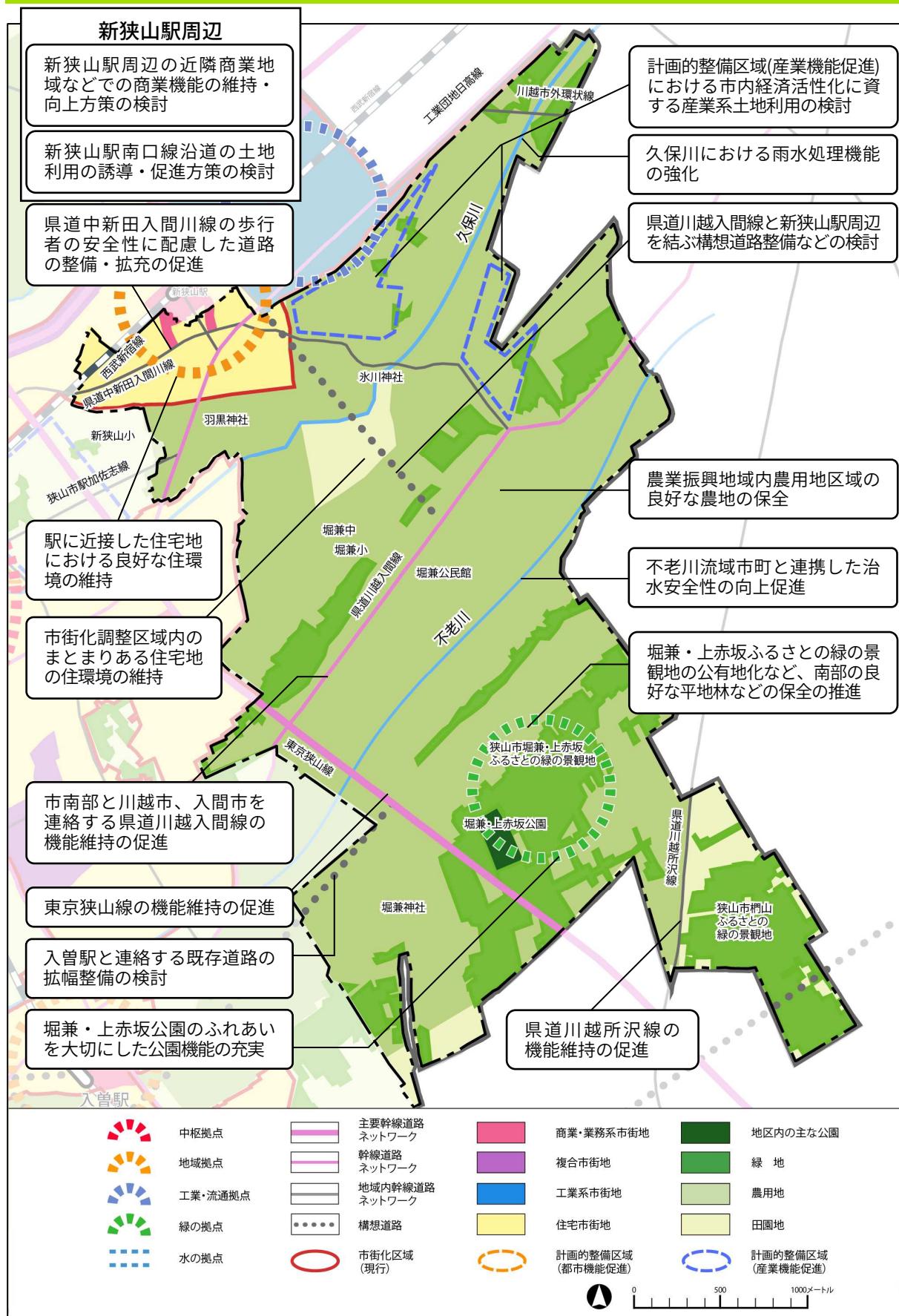
豊かな自然を活かした公園・緑地の適切な維持管理の実施

- 堀兼・上赤坂公園のふれあいを大切にした公園機能の充実
- 堀兼・上赤坂ふるさとの緑の景観地の公有地化など、南部の良好な平地林などの保全の推進

③ その他の方針

- 堀兼神社など歴史的資産の保全・活用
- 空き家や空き地などの適正管理や利活用の促進

(5) まちづくり方針図



4. 奥富地区

(1) 地区の概況

本市の北部、入間川の東側に位置します。国道16号沿道には商業施設などの都市機能が立地し、その周辺には大規模な農地と河川が広がる、都市と自然が共存した地区です。

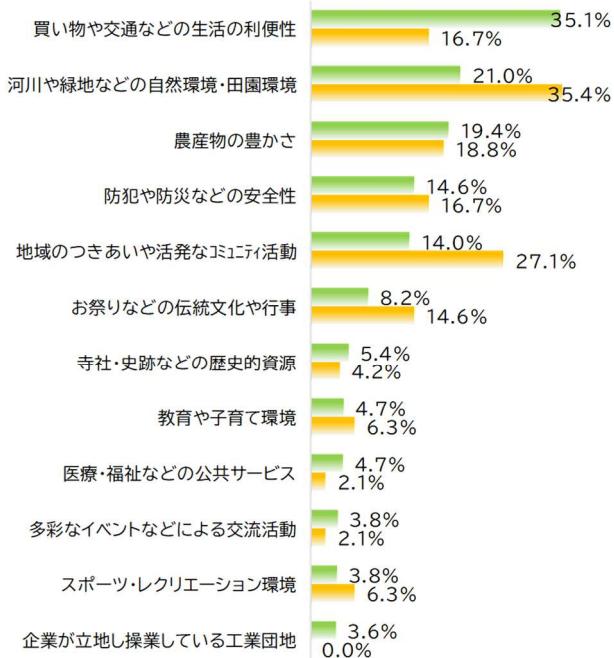
地元米を使った地酒づくりや秋の風物詩である奥富かかし祭りなど、田園環境を活かした取り組みが数多く進められています。

入間川周辺には、運動公園などのスポーツ・レクリエーション施設や市民健康文化センターサンパーク奥富といった健康福祉施設などが集積しています。

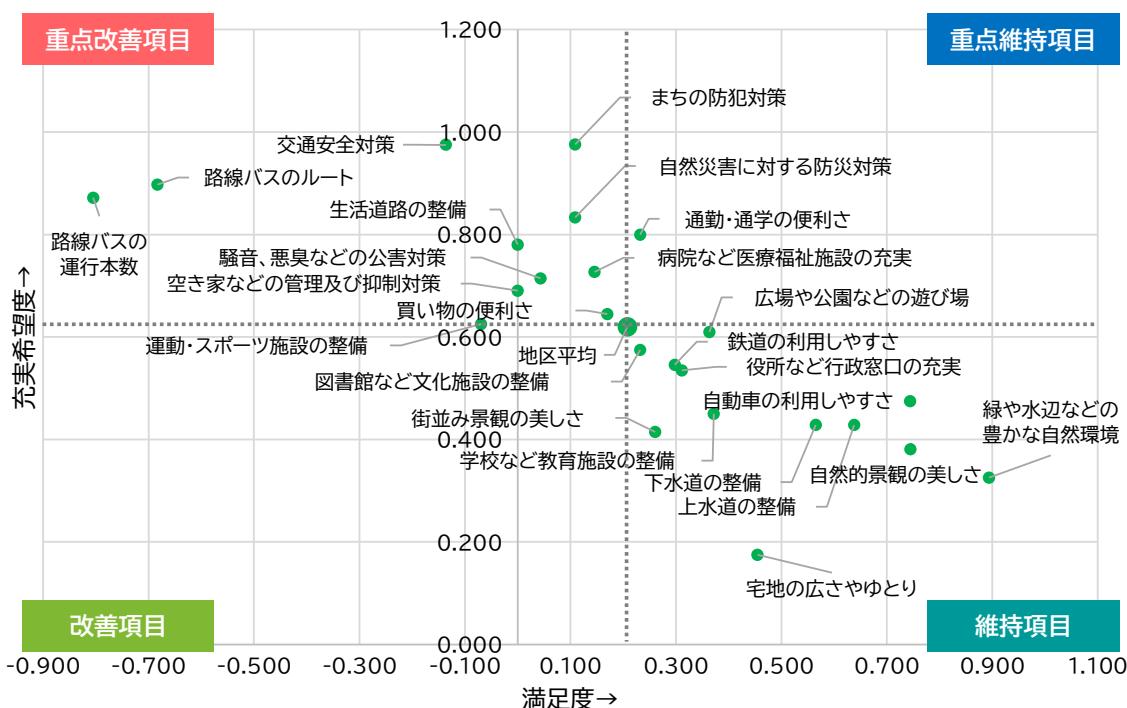
(2) 地区の声

- 「河川や緑地などの自然環境・田園環境」と「地域のつきあいや活発なコミュニティ活動」が誇り・自慢
- 「公共交通の利便性確保」や「交通安全対策」といった、道路・交通に関する項目が重要な課題
- 柏原新狭山線は朝夕に渋滞するため、生活道路への車の進入が見られる
- 農業は後継者などの担い手が不足し、草刈りなどの維持も大変な状況である。農業政策と連携して、都市計画でも取り組みを検討してもらいたい

■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度(市民アンケート)



(3) 地区の将来像

《将来像》

豊かな田園や入間川が共存する ふれあいのまち 奥富

《まちづくりの目標》

目標1 国道16号沿道の市街地づくり

国道16号沿道は、地区の生活を支える商業などの生活サービス機能の利便性の維持・向上、防災機能の向上を図ります。



国道16号

目標2 道路・交通機能の安全性・利便性の確保

新狭山駅方面へのアクセス機能の強化や利便性の向上のため、バスなどの公共交通機関の確保・充実を図ります。

生活道路においては、通過交通対策などに取り組み、暮らしにおける安全性の確保を図ります。



茶の花号

目標3 田園環境と調和した安全な住環境の形成

住宅地は、地区の住民が快適に、安全で安心して生活できるように、道路や雨水排水処理機能などの整備・改善、河川の浸水対策の促進を図るとともに、地区の特徴である美しい田園環境とも調和した、良好な住環境の形成を図ります。



住宅地(奥富小学校周辺)

目標4 自然資源や歴史的資産を活かした地区の魅力づくり

入間川の豊かな自然を保全するとともに、河川敷公園、赤間川、社寺や旧街道などと地区に広がる田園をふれあいの場づくりに活用して、地区の魅力向上を図ります。



奥富かかし祭

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

良好な住環境の維持

- 住宅地のコミュニティや生活利便性に配慮した良好な住環境の維持
- 国道16号沿道への生活サービス機能の立地誘導による沿道市街地の利便性の促進

自然環境に配慮した土地利用

- 市街化調整区域の緑の保全及び無秩序な市街地拡大の防止と住宅地での住環境の維持
- 農業振興地域内農用地区域の良好な農地の保全

② 都市基盤・施設整備の方針

都市の骨格となる道路・交通体系の整備

- 国道16号などの幹線道路での大規模災害時の円滑な通行機能、延焼遮断機能の確保
- 地区内外を連絡する柏原新狭山線の渋滞対策と生活道路への通過交通の流入抑制

安全で快適な住環境の形成

- 通行環境の安全性の向上のための交通安全施設の設置と通過交通の抑制検討
- 赤間川における雨水処理機能強化の促進
- 新狭山駅方向へのアクセスとなる道路の適切な維持管理
- 入間川の治水安全性の向上に向けた流域都市との連携による埼玉県への要望

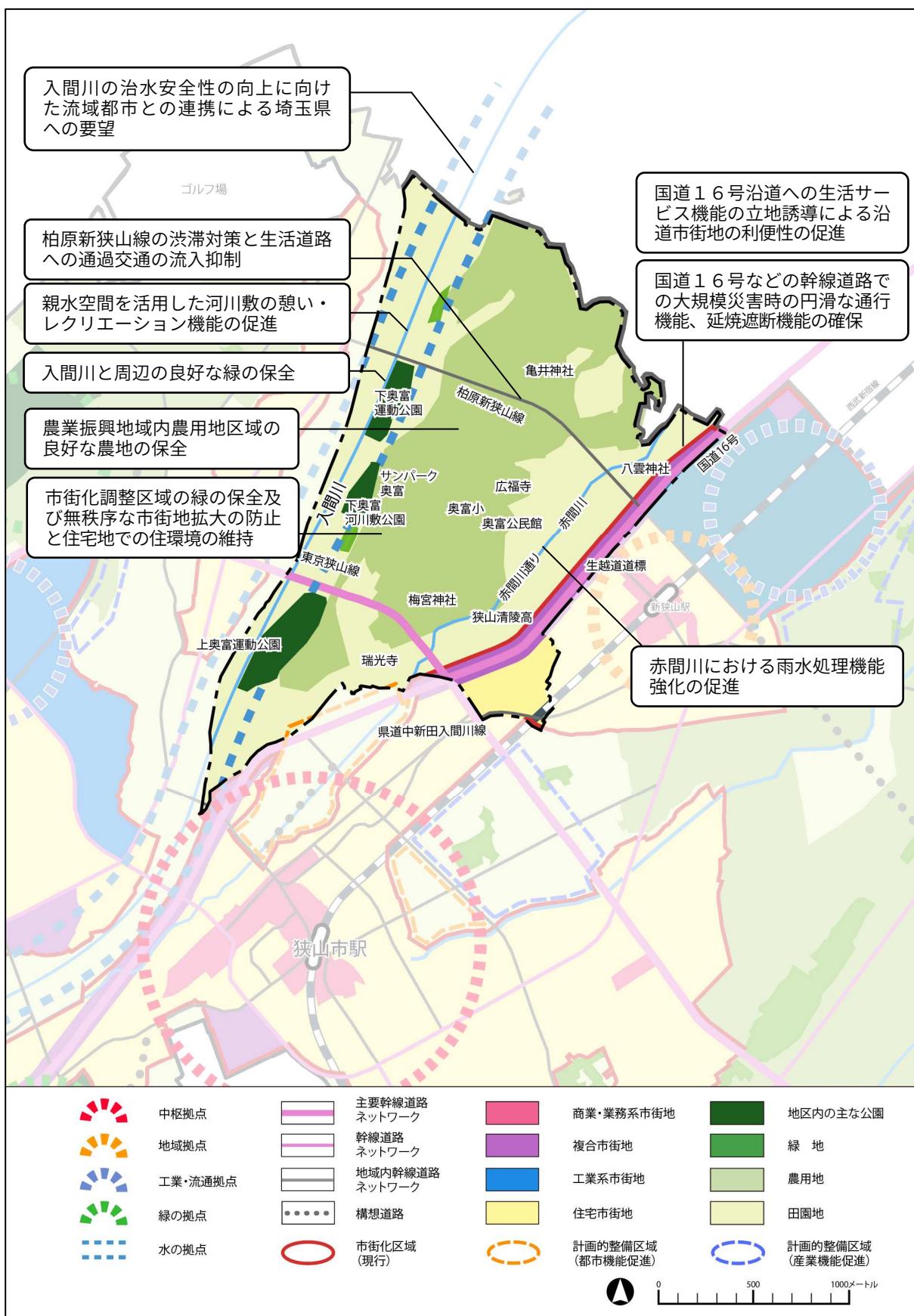
豊かな自然を活かした公園・緑地の適切な維持管理の実施

- 親水空間を活用した河川敷の憩い・レクリエーション機能の促進

③ その他の方針

- 入間川と周辺の良好な縁の保全
- 美しい田園環境の維持保全
- 田園を活かしたふれあいの場づくりの促進
- 梅宮神社、広福寺、瑞光寺など歴史的資産の保全・活用

(5) まちづくり方針図



5. 柏原地区

(1) 地区の概況

本市の北部、入間川の西側に位置します。柏原ニュータウンや狭山工業団地といった大規模開発と、入間川、智光山公園といった豊かな自然が共存した地区です。

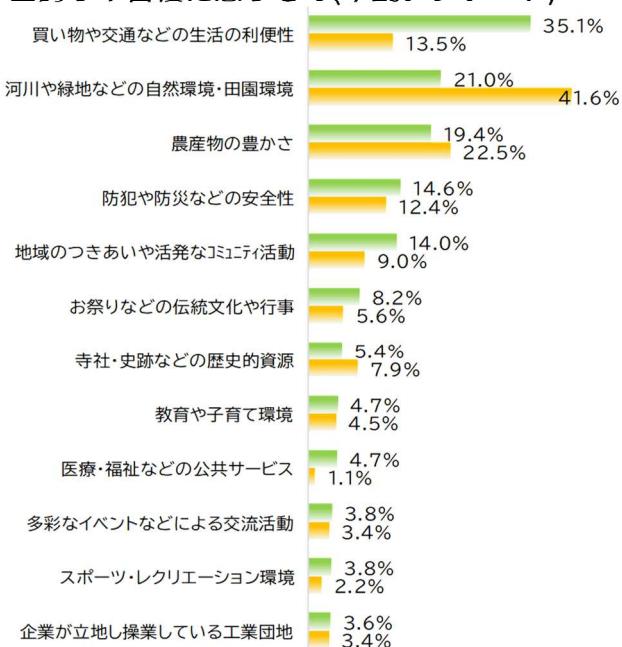
狭山工業団地は昭和40年代後半から操業を開始し、その後、柏原北地区、柏原鳥之上地区において拡張され、県内トップクラスの本市の工業を支えています。

智光山公園は本市最大の公園であり、こども動物園や都市緑化植物園、釣場、市民総合体育館など、多様な施設により、レクリエーションやレジャーを目的として、本市内外から人が訪れる憩いの場所となっています。

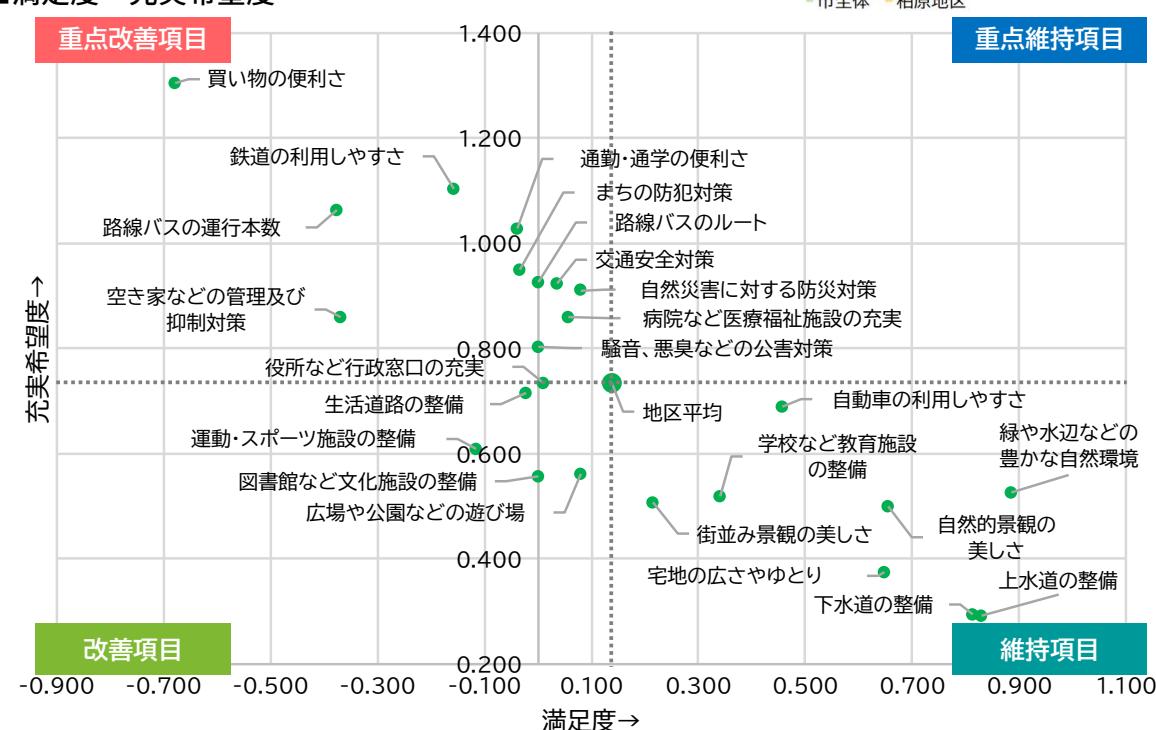
(2) 地区の声

- 「河川や緑地などの自然環境・田園環境」が誇り・自慢
- 「買い物の利便性確保」が重要な課題
- 東京狭山線は整備されたが、周辺には危険な箇所が残っている
- 河川敷の整備や治水は昔より相当よくなった。入間川の安全性と美しさを活かしたまちづくりが必要だと思う

■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度



(3) 地区の将来像

《将来像》

水と緑 未来へつなぐ豊かなまち 柏原

《まちづくりの目標》

目標1 斜面林、農地や工業団地などと調和した住環境の形成

住宅地は、地区の住民が安全で快適に生活できるように、道路や身近な公園の維持保全に努め、自然、農地や企業とも調和した良好な住環境の確保を図ります。



住宅地(中本宿)

目標2 基盤の整った住宅地における良好な住環境の維持・充実

道路、公園などの都市基盤の整った柏原ニュータウンなどの住宅地では、住民参加のルールなどにより、良好な住環境の維持・充実を図ります。

また、ふれあいを育むコミュニティ機能の維持・充実を図ります。



柏原ニュータウン

目標3 便利で快適な道路・交通網の整備・充実

幹線道路網の機能維持やバス路線などの公共交通網の充実により、本市中心部へのアクセス強化や福祉施設など生活サービス機能への連絡強化など、地区の交通利便性の向上を図ります。



東京狭山線

目標4 自然資源や歴史的資産を活かした地区の魅力づくり

入間川を本市内外に誇れる自然資源として、訪れた人々が楽しめる魅力づくりを図るとともに、斜面林や農地などの豊かな緑の保全に努めます。

智光山公園の機能向上、河川敷公園の適正な管理と活用による地区の魅力づくりを進めるとともに、農地を多面的に活用した地区との交流により、お互いに協調した良好な環境の構築を図ります。



入間川サイクリングロード

目標5 地区の活力を支える工業団地の形成

狭山工業団地は、地区の雇用や定住を支える場として、また本市の活力ある産業振興の拠点として、周辺環境との調和を図りつつ、土地利用の推進を図ります。



狭山工業団地

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

良好な住環境や市街地環境の維持

- 柏原ニュータウンなどの基盤整備された地区の良好な住環境の維持
- 工業団地日高線沿道の住宅と工業系施設が混在する地区での相互に配慮した適正な環境の維持
- 狹山工業団地の良好な操業環境の保全と充実
- 計画的整備区域(産業機能促進)における市内経済活性化に資する土地利用の促進(農業振興地域内農用地区域においては、都市計画に関する土地利用と農業の調整を十分に行い整合を図る)

自然環境に配慮した土地利用

- 狹山工業団地周辺の調和を図る緑化の促進
- 市街化調整区域の緑の保全及び無秩序な市街地拡大の防止と住宅地での住環境の維持
- 農業振興地域内農用地区域の良好な農地の保全

② 都市基盤・施設整備の方針

都市の骨格となる道路・交通体系の整備

- 入間柏原線の整備の促進
- 笹井柏原線の整備推進と延伸の検討
- 柏原新狭山線延伸の検討
- 県道鯨井狭山線、県道笠幡狭山線の歩行者の安全性確保に配慮した道路の整備・拡充の促進

安全で快適な住環境の形成

- 通行環境の安全性の向上のための交通安全施設の設置と通過交通の抑制検討
- 急傾斜地における安全性確保の促進
- 入間川の治水安全性の向上に向けた流域都市との連携による埼玉県への要望
- 甲斐屋坂周辺の雨水対策の継続的な取り組み

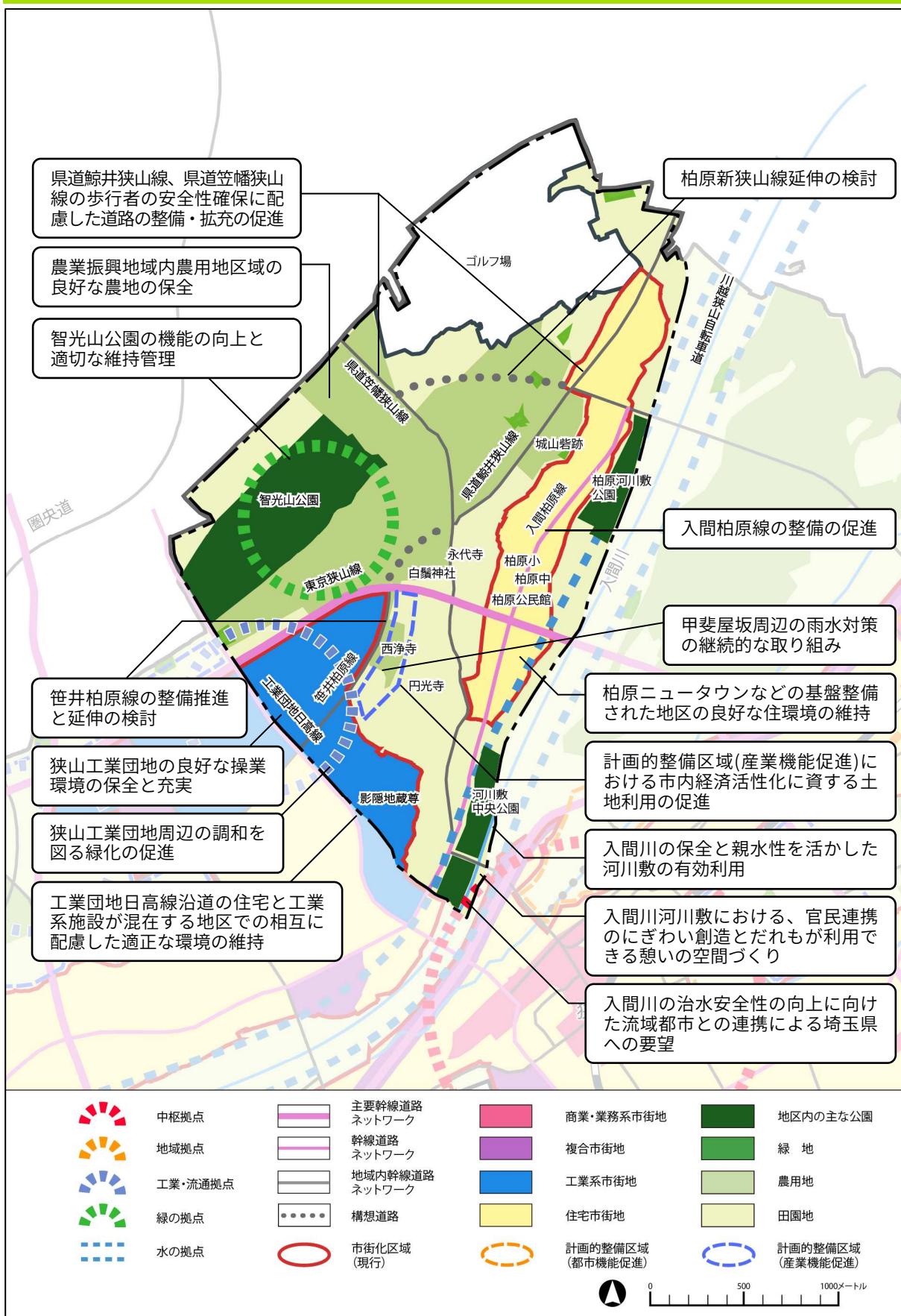
豊かな自然を活かした公園・緑地の適切な維持管理の実施

- 智光山公園の機能の向上と適切な維持管理
- 入間川の保全と親水性を活かした河川敷の有効利用

③ その他の方針

- 入間川河川敷における、官民連携のにぎわいの創造とだれもが利用できる憩いの空間づくり
- 斜面緑地の間伐などによる樹木の更新
- 城山砦跡や白鬚神社などの歴史的資産の保全・活用

(5) まちづくり方針図



6. 水富地区

(1) 地区の概況

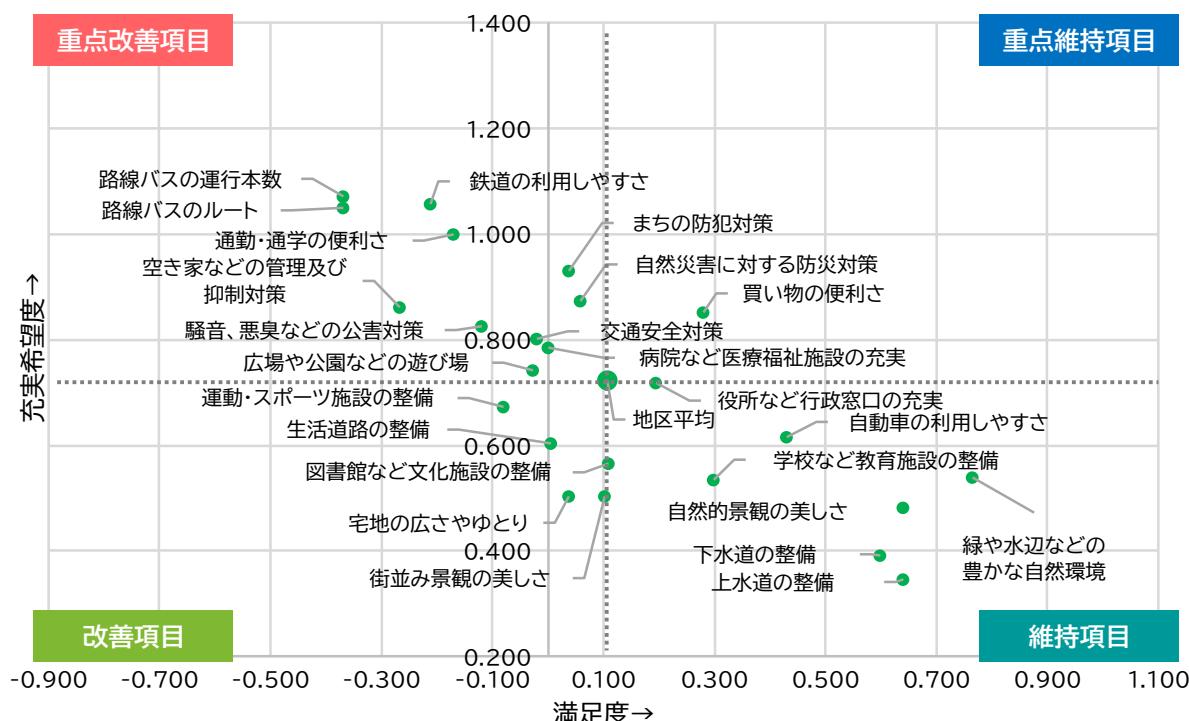
本市の西部に位置します。地区内に圏央道狭山日高インターチェンジがあり、その立地特性を活かして狭山工業団地の工業地が広がっており、上広瀬西久保地区において土地区画整理事業による狭山工業団地の拡張が行われるなど、さらなる工業地の整備も進んでいます。

昭和56年(1981年)に入居開始したつづじ野団地をはじめとする住宅地は工業地の近くに広がっていますが、入間川や農地などの緑と自然に恵まれた住工共存の生活環境が形成されています。

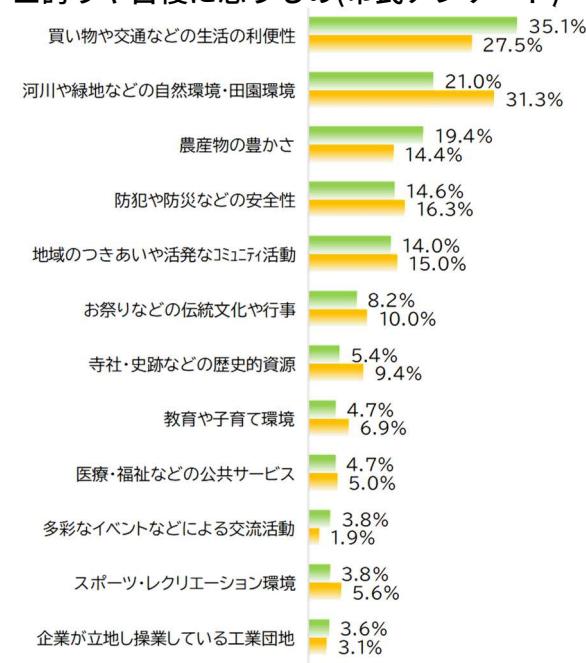
(2) 地区の声

- 「河川や緑地などの自然環境・田園環境」「買い物や交通などの生活の利便性」が誇り・自慢
- 「公共交通の利便性確保」が重要な課題
- 交通量の増加などにより、駅へのバスでの所要時間が増加している
- 日生団地内が幹線道路から工業団地への抜け道となっており、通学路として危険な状況にある
- 道が狭い。土地区画整理事業や拡幅は難しいと思うが、道路整備が進まないとまちの発展も人口の増加もない

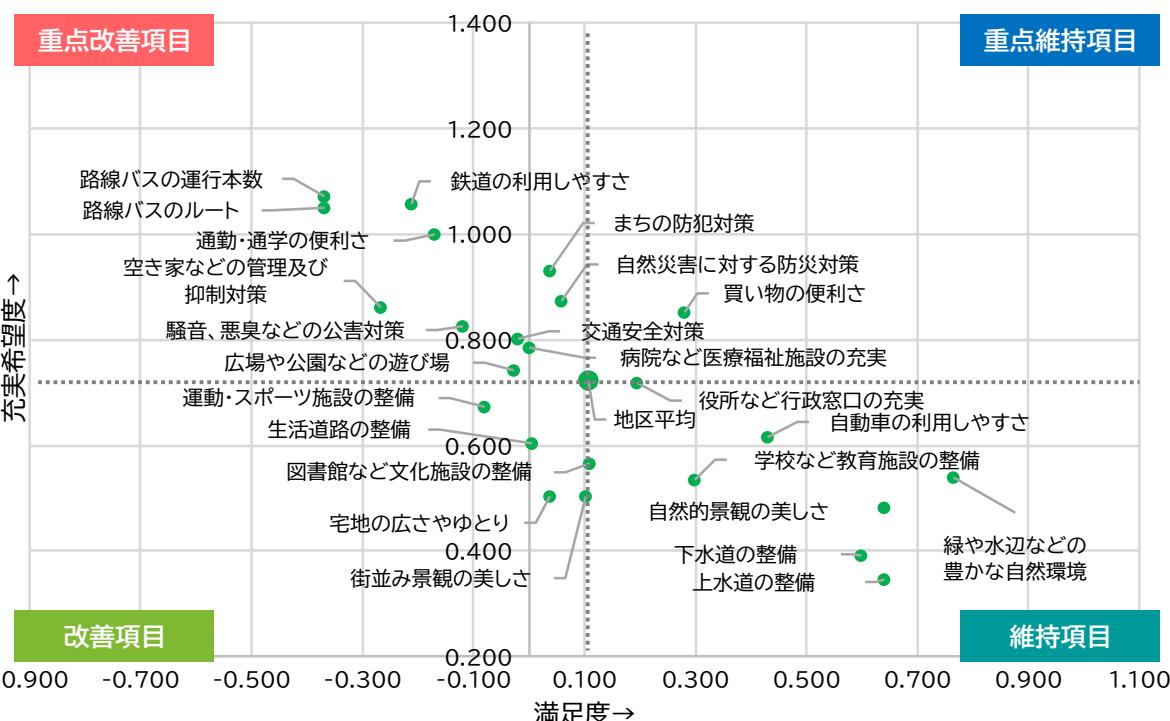
■満足度・充実希望度



■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度



(3) 地区の将来像

《将来像》

水辺にきらめく 活力とうるおいのあるまち 水富

《まちづくりの目標》

目標1 道路・交通機能の整備・充実

地区住民の日常生活の安全性と利便性の向上を図るため、幹線道路や生活道路の整備と適切な維持管理を図ります。

また、バスなどの公共交通網の整備・充実を進めます。



入間柏原線

目標2 市民の利便に供する生活サービス機能の充実

幹線道路沿道は、店舗など沿道立地の適地としての特性を活かし、柏原地区など周辺地区も含めた多くの市民の日常生活の利便性の向上に向け、生活サービス機能の充実を図ります。



上諏訪下広瀬線沿道(広瀬東2丁目)

目標3 自然や農地、工業団地と調和した良好な住環境の形成

住宅地は、地区住民が快適に、安全で安心して生活できるように、道路や公園などの都市基盤の適切な維持管理を図るとともに、周囲の自然や農地、工業団地とも調和した良好な住環境の維持を進めます。



工業団地隣接地域(上広瀬)

目標4 自然資源や歴史的資産を活かした地区の魅力づくり

入間川の豊かな自然の保全や河川敷公園の適正な管理を図ります。

また、斜面林や社寺などの歴史的資産の保全・活用と根堀をはじめとする用水路の活用による地区の魅力向上を図ります。



入間川

目標5 圏央道狭山日高インターチェンジ周辺の活力と魅力ある工業地の形成

圏央道狭山日高インターチェンジ周辺は、地区住民の職住近接の場として、また、本市の活力ある産業振興の新たな拠点として土地利用の推進を図るとともに、周辺環境とも調和した活力と魅力ある工業地の形成を進めます。



圏央道狭山日高インターチェンジ周辺

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

良好な住環境や市街地環境の維持保全

- つつじ野団地などの基盤整備された地区の良好な住環境の維持
- 筒井をはじめとする住宅地での道路と住環境の維持
- 工業団地日高線や入間柏原線沿道などにおける、日常生活を支える商業などの生活サービス機能の誘導方策の検討
- 狹山工業団地の良好な操業環境の保全と充実

圏央道狭山日高インターチェンジなどの利便性を活かした土地利用

- 圏央道狭山日高インターチェンジ周辺での、計画的整備区域(産業機能促進)を中心とした市内経済活性化に資する土地利用の促進(農業振興地域内農用地区域においては、都市計画に関する土地利用と農業の調整を十分に行い整合を図る)

自然環境に配慮した土地利用

- 市街化調整区域の緑の保全及び無秩序な市街地拡大の防止と住宅地での住環境の維持
- 農業振興地域内農用地区域の良好な農地の保全

② 都市基盤・施設整備の方針

都市の骨格となる道路・交通体系の整備

- 熊谷入間線や入間柏原線の整備促進
- 筒井柏原線の整備・拡充による利便性と安全性の向上

安全で快適な住環境の形成

- 通行環境の安全性の向上のための交通安全施設の設置と通過交通の抑制検討
- 急傾斜地における安全性確保の促進
- 入間川の治水安全性の向上に向けた流域都市との連携による埼玉県への要望

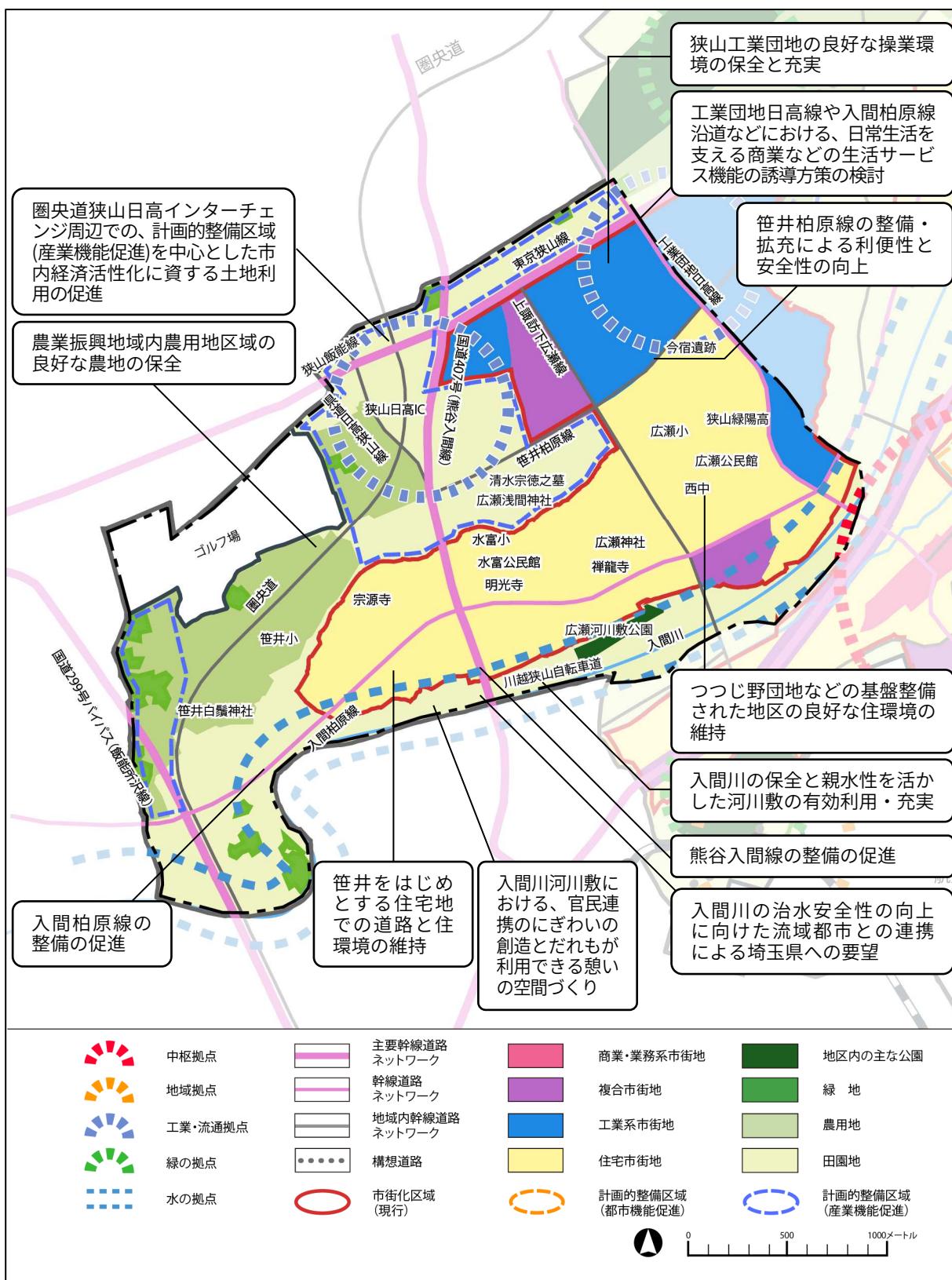
豊かな自然を活かした公園・緑地の適切な維持管理の実施

- 筒井堰(ダム)周辺や広瀬河川敷公園など、入間川の自然とふれあえる空間の維持保全
- 入間川の保全と親水性を活かした河川敷の有効利用・充実

③ その他の方針

- 入間川河川敷における、官民連携のにぎわいの創造とだれもが利用できる憩いの空間づくり
- 斜面林などの良好な自然資源の保全
- 根堀など用水路の魅力的な空間としての活用
- 広瀬神社や広瀬浅間神社(富士浅間神社)などの歴史的資産の保全・活用

(5) まちづくり方針図



7. 新狭山地区

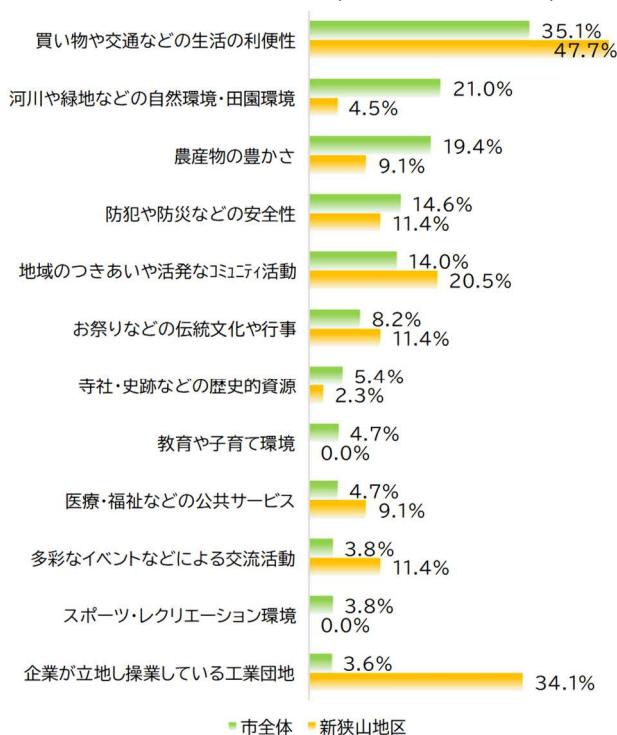
(1) 地区の概況

本市の北東部に位置し、新狭山駅を中心とした市街地と本市の活力を支える川越狭山工業団地が近接して立地しています。そのため、新狭山駅周辺では、住宅地の市民と工業団地で働く従業者の暮らしがより密接に関わり合っている様子が見られます。

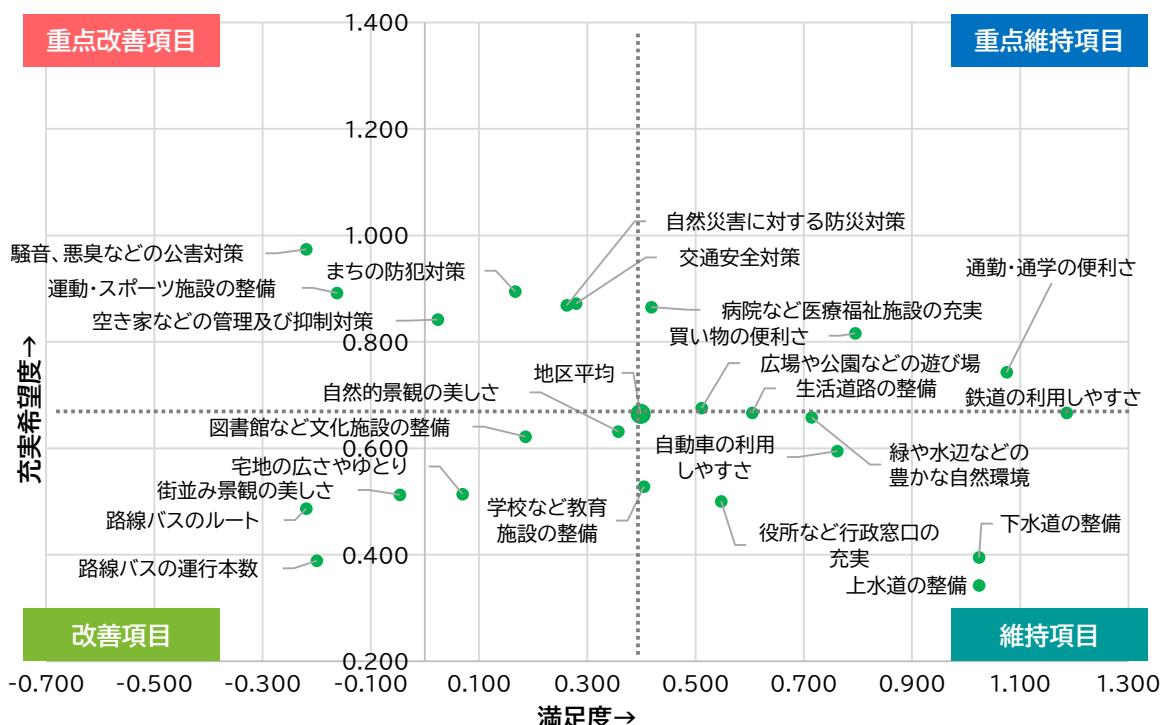
(2) 地区の声

- 「買い物や交通などの生活の利便性」「企業が立地し操業している工業団地」が誇り・自慢
- 「騒音、悪臭などの対策」や「運動・スポーツ施設の整備」といった、利便性以外の暮らしに関する項目が重要な課題
- 市民の高齢化などにより、今後新狭山地区は徒歩で買い物に行ける、コンパクトな拠点であることが強みになる
- 公園が開設から相当年経過し、樹木の老朽化が目立つようになった
- 西武新宿線狭山市3号踏切付近から県道中新田入間川線までの区間は、すれ違いなどで危険である

■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度(市民アンケート)



(3) 地区の将来像

《将来像》

緑を育み 住・商・工がふれあう 快適元気なまち 新狭山

《まちづくりの目標》

目標1 新狭山駅周辺における魅力的な商業機能の維持・増進と環境整備

本市東部の地域拠点である新狭山駅周辺は、便利で人が集まる駅前商業地としての機能充実とともに、良好な都市環境の維持保全に努めます。

駅北口では、にぎわいづくり・魅力づくりに向けた環境整備を進めます。

駅南口では、隣接する東三ツ木地区との連携を図り、土地利用の誘導を進めます。



新狭山駅北口

目標2 交通の利便性を活かした、安全で快適な住環境の維持・充実

基盤整備が済み、駅に近接する便利な住宅地では、今後、公園や街路樹の緑を保全・管理し、うるおいを感じるまちづくりを進めます。

また、通行の安全確保や地区住民のコミュニティ活動の場づくりなど、安全で快適な居住環境の維持・充実を図ります。



プラタナス通り

目標3 川越狭山工業団地における活力基盤の維持と駅前市街地との協調・調和

職住近接のまちとして、川越狭山工業団地と駅前市街地が調和した、適切な環境維持を進めます。

また、地区と企業がともにまちづくりを充実させるため、引き続き協調を図っていきます。



ベコニアロード

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

地域拠点としての都市機能の維持・増進

- 新狭山駅周辺と国道16号沿道での生活サービス機能の維持・増進

良好な住環境や市街地環境の維持保全

- 駅に近接する利便性を活かした良好な住環境の維持
- 駅前市街地や周辺との調和を考慮した川越狭山工業団地での環境の維持保全

雇用と定住を呼び込む工業の充実

- 川越狭山工業団地における操業環境の充実・強化

② 都市基盤・施設整備の方針

新狭山駅周辺の交通結節点としての機能強化

- 駅前広場の利便性の維持・向上
- 安全・快適な歩行者空間の拡充強化の検討
- 官民による自転車駐車場の充実

都市の骨格となる道路・交通体系の整備

- 柏原新狭山線と西武新宿線の交差部の立体化の検討

安全で快適な住環境の形成

- 通学路の安全性確保のための交通規制などの検討

豊かな自然を活かした公園・緑地の適切な維持管理の実施

- まちの緑化推進と安全性にも配慮した既存公園や街路樹の適切な保全・管理

③ その他の方針

- 工場と共に良好な住環境を維持する環境対策の推進
- 個性ある商業環境の創出の支援

(5) まちづくり方針図



8. 狹山台地区

(1) 地区の概況

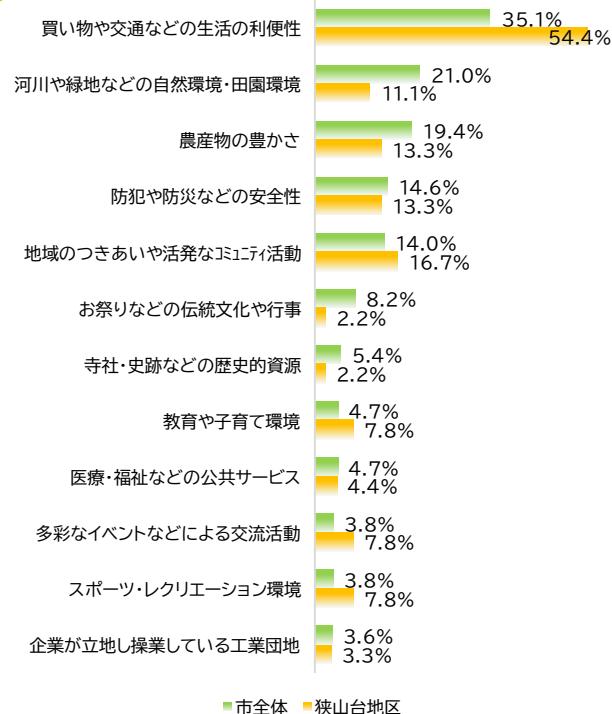
昭和50年(1975年)に入居開始した狭山台団地を中心とした住宅地が広がる地区です。

多くの地区住民がほぼ同時期に入居しているため、年代の共通性が高く、入居開始から40年以上が経過していることから、高齢者の割合が他地区よりも高いという特徴があります。

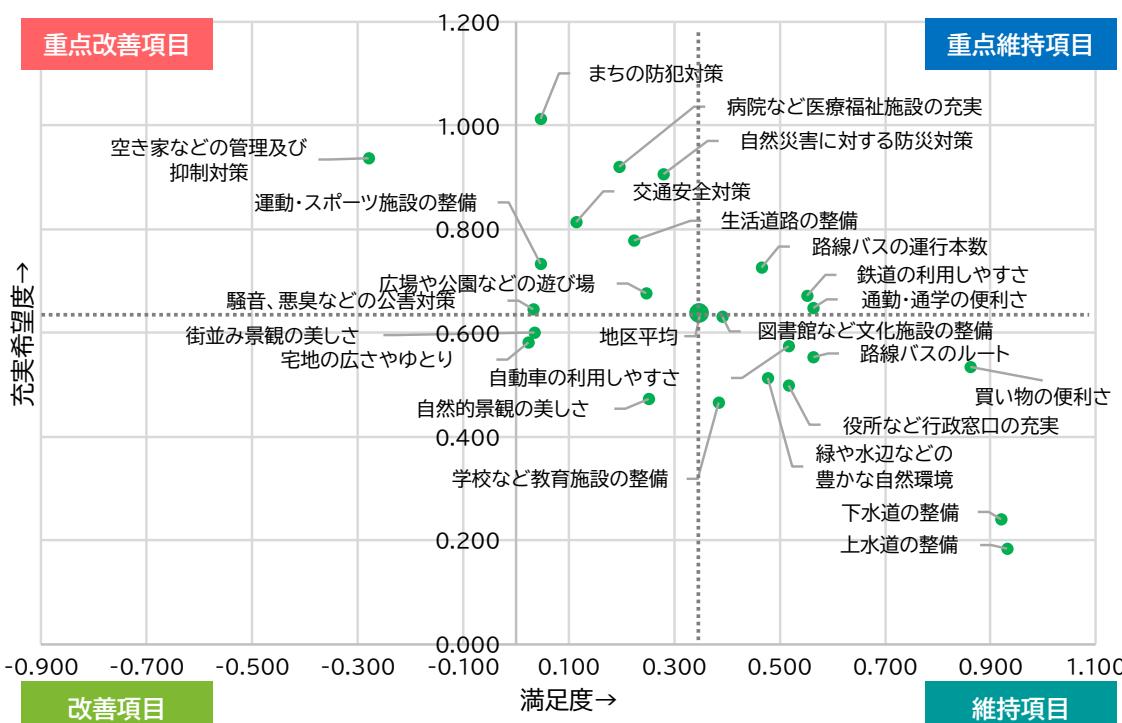
(2) 地区の声

- 「買い物や交通などの生活の利便性」が誇り・自慢
- 「空き家などの管理及び抑制対策」が重要な課題
- 現状の狭山台地区の高齢者は元気な方が多いが、将来の高齢化の更なる進展を見据えた取り組みを進め、狭山台に住みたいという方を増やしたい
- 狹山台地区は農地や工場はない住宅地区といえるため、住みやすい住宅地を目指したい
- 狹山台団地の老朽化に対して不安がある

■誇りや自慢に思うもの(市民アンケート)



■満足度・充実希望度(市民アンケート)



(3) 地区の将来像

《将来像》

緑と共存する住環境 快適なまち 狹山台

《まちづくりの目標》

目標1 利便性の向上と住環境の保全・充実

工業団地日高線沿道や近隣商業地域などにおいて、地区の中心となる生活サービス機能の充実を進め、日常生活の利便性向上を図ります。

また、戸建て住宅や中高層住宅などの市街地形成や土地利用を踏まえ、都市基盤の整った住宅地としての良好な住環境の保全と充実を進めます。



戸建て住宅地



中高層住宅地

目標2 安全性・快適性などを確保した道路・交通機能の充実

東京狭山線やけやき通りなど、日常生活の軸となる道路の安全性の充実と通行空間の確保を図り、街路樹の維持とあわせた快適な道路環境の充実を図ります。

また、生活道路の安全性、バスなどの公共交通網の整備・充実を進めます。



東京狭山線

目標3 コミュニティ機能の充実による健康な地域づくり

地区住民の高齢化を踏まえ、ふれあいや交流、健康づくりを大切にするまちづくりの推進に向けたコミュニティ機能や公園の保全を図ります。



狹山台中央公園



狹山台小学校

目標4 緑やうるおいを大切にした街並みの形成

地区内の公園、街路樹の緑、久保川などの親水空間を活かし、緑と共存する街並みの形成を図ります。



けやき通り

(4) まちづくりの方針

① 土地利用の方針

良好な住環境や市街地環境の維持保全

- 低層戸建て住宅地のゆとりある緑豊かな住環境の維持
- 中高層住宅地の良好な住環境の維持や緑の育成
- 工業団地日高線沿道や近隣商業地域などにおける、生活サービス機能の誘導方策の検討

② 都市基盤・施設整備の方針

安全で快適な住環境の形成

- 交差点改良などによる通行の安全性の確保
- 久保川における雨水処理機能の維持保全

③ その他の方針

- 公園や街路樹の緑の保全
- 地区を代表するけやき通りや工業団地日高線の街路樹などの維持保全
- 空き家や老朽マンションなどの適正管理や利活用の促進

(5) まちづくり方針図

